

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 臨床薬学教育研究センター

記

研究の名称	がん患者と薬剤師のオンライン交流会が患者・薬剤師に与える影響を調査する質的研究
対象	2025 年 1 月 1 日 から 2025 年 4 月 30 日 までの期間に、本研究への参加にご同意いただき、オンライン交流会に関するインタビューおよびアンケートにご回答いただいた方が対象です。今後、本学（大阪医科薬科大学）では、16 例のデータ解析を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：本研究は、“患者さんと薬剤師のオンライン交流会”に参加された際のお気持ちなどをインタビューやアンケートにお答えいただき、その内容を研究に利用します。患者さんが交流会で感じた「不安や孤立感のやわらぎ」や、「普段の薬局での薬剤師さんとの接し方の変化」を分析することで、「オンライン交流会が患者さんや薬剤師さんにどのような変化をもたらすのか」を明らかにすることを目的としています。 利用方法：患者さんの「インタビューのお答えを文字に起こしたデータ」および「アンケート調査の結果」を抽出し、解析を行います。抽出したデータは、お名前などを削除し、どなたのものか特定できないように厳重

	に加工したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報： オンライン交流会に関するインタビューの発言録（文字起こしデータ） 交流会前後の意識や行動の変化に関するアンケート調査の結果 対象者の背景情報（年代、性別、がんの治療歴など）
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示すべき利益相反（企業等との利害関係）はありません。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 臨床薬学教育研究センター 准教授 西村亜佐子	
参加拒否の申し出について ご自身のインタビューデータ（発言録）やアンケート調査の結果を研究に利用させて頂くことに対するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。 ※なお、本研究のデータは、事前にご案内していた期日（2025年3月31日）を過ぎた段階で、どなたのものか分からないよう加工して解析を進めております。そのため、今からのデータの取	

り消しや除外にはお応えできない場合がございます。大切なデータを守るための手続きとなりますので、ご理解いただけますと幸いです。

問い合わせ窓口

【研究機関】

〒569-1091 大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号

大阪医科薬科大学 臨床薬学教育研究センター

担当者 西村 亜佐子

連絡先 072-690-1000（代） 072-690-1061（直通）

【試料・情報の提供を行う機関】

提供責任者：西村 亜佐子

研究機関及び研究機関の長：浦田 秀仁